

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社大戸屋ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2705 URL <http://www.ootoya.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 健一  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 松岡 彰洋 (TEL) 0422(26)2600  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,721	2.8	409	△19.3	432	△6.2	68	△64.7
29年3月期第3四半期	19,178	△1.1	507	17.1	460	6.8	193	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 66百万円(△35.3%) 29年3月期第3四半期 102百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第3四半期	9.49		9.48	
29年3月期第3四半期	26.86		26.83	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	9,614		4,572		47.0	
29年3月期	10,255		4,721		45.6	

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 4,516百万円 29年3月期 4,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
29年3月期	円	銭	円	銭	円	銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00	
30年3月期(予想)				25.00	25.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	26,000	1.5	560	△21.1	600	△15.7	150	△58.0	20.84	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期3Q	7,200,000株	29年3月期	7,198,500株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	137株	29年3月期	137株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期3Q	7,199,601株	29年3月期3Q	7,194,998株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な世界経済を背景に企業収益や雇用環境が改善し、緩やかな回復基調が続きましたが、個人が景気の回復を十分に実感するには至らず、海外における政治・経済の不透明感や地政学リスクなどから引き続き不安定な状況が続きました。

外食産業におきましても、食材価格の高止まりや人件費の上昇に加え他業態との顧客獲得競争がさらに激化し、経営環境は引き続き厳しい状況となりました。

このような状況の下、当社グループの当連結会計年度は、中期経営計画「継承」～「改革」～「飛躍」の初年度である継承期にあたり、「人々の心と体の健康を促進し、フードサービス業を通じ、人類の生成発展に貢献する」という経営理念のもと、「ちゃんとごはん。」を大戸屋ブランドのスローガンに掲げ、店舗価値の向上や人材の育成に取り組むとともに、6月にはグランド・メニューのリニューアルを行った他、季節商品の導入にも取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、国内におきまして、「大戸屋ごはん処」8店舗（直営2店舗、フランチャイズ6店舗）を新規に出店いたしました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は当社グループ合計で451店舗（うち国内直営145店舗、国内フランチャイズ207店舗、海外直営13店舗、海外フランチャイズ86店舗）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は19,721百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益409百万円（同19.3%減）、経常利益432百万円（同6.2%減）となり、創業者功労金200百万円及び固定資産除却損23百万円を特別損失に計上し、法人税等合計が124百万円となったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（同64.7%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 国内直営事業

国内直営事業は「大戸屋ごはん処」2店舗（新さっぽろサンピアザ店、溝の口店）の新規出店がありました。また、4店舗（イトーヨーカドー奈良店、渋谷文化村通り店、行徳駅南口店、大宮東口店）の閉店がありました。また、国内直営事業でありました2店舗（飯能店、練馬駅南口店）が国内フランチャイズ事業となり、国内フランチャイズ事業でありました3店舗（福岡志免店、府中北口店、パサージュ西新宿店）が直営事業となりました。

これにより、当第3四半期連結会計期間末における国内直営事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」144店舗、「おとや」（他業態）1店舗の総計145店舗となりました。

以上の結果、国内直営事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は10,985百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益95百万円（前年同期比62.3%減）となりました。

#### ② 国内フランチャイズ事業

国内フランチャイズ事業は、「大戸屋ごはん処」6店舗（大垣店、津山の手店、広小路柳橋店、一宮木曾川店、新潟女池店、豊田前山店）の新規出店がありました。また、国内直営事業でありました2店舗（飯能店、練馬駅南口店）が国内フランチャイズ事業となり、国内フランチャイズ事業でありました3店舗（福岡志免店、府中北口店、パサージュ西新宿店）が直営事業となりました。

これにより、当第3四半期連結会計期間末における国内フランチャイズ事業に係る稼働店舗数は「大戸屋ごはん処」207店舗となりました。

以上の結果、国内フランチャイズ事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は6,205百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益788百万円（同1.5%増）となりました。

#### ③ 海外直営事業

海外直営事業は、当第3四半期連結会計期間末現在、13店舗（香港大戸屋有限公司が香港に4店舗、OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD. がシンガポール共和国に3店舗、AMERICA OOTOYA INC. が米国ニューヨーク州に5店舗、M OOTOYA (THAILAND) CO., LTD. がタイ王国に1店舗）稼働しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,163百万円（前年同期比5.7%増）、営業損失91百万円（前年同期は48百万円の営業損失）となりました。

④ 海外フランチャイズ事業

海外フランチャイズ事業は、当第3四半期連結会計期間末現在、86店舗（タイ王国において43店舗、台湾において30店舗、インドネシア共和国において9店舗、中国上海市において3店舗、ベトナムホーチミン市において1店舗）を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は144百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益56百万円（同35.6%増）となりました。

⑤ その他

その他は、メンテナンス事業、食育事業及びタイ王国におけるプライベートブランド商品の輸入・販売事業であり、当第3四半期連結会計期間末現在、株式会社O T Y フィールがメンテナンス事業を、THREE FOREST (THAILAND) CO., LTD. がプライベートブランド商品の輸入・販売をタイ王国で行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は221百万円（外部顧客に対する売上高。前年同期比5.5%増）、営業利益29百万円（同567.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、現金及び預金2,044百万円を主なものとして3,936百万円（前連結会計年度末比12.5%減）、また、固定資産は、店舗等の有形固定資産3,201百万円と敷金及び保証金1,827百万円を主なものとして5,678百万円（同1.4%減）であり、資産合計では9,614百万円（同6.2%減）となりました。これは主に、現金及び預金が減少したためであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、1年内返済予定の長期借入金601百万円、買掛金1,146百万円及び未払金707百万円を主なものとして3,554百万円（前連結会計年度末比5.7%減）、固定負債は、資産除去債務340百万円を主なものとして1,487百万円（同15.7%減）であり、負債合計では5,042百万円（同8.9%減）となりました。これは主に、長期借入金が増加したためであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は4,572百万円（前連結会計年度末比3.1%減）となり、自己資本比率は47.0%となりました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成30年2月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,608,373	2,044,688
売掛金	990,365	986,619
原材料及び貯蔵品	68,714	100,855
その他	853,936	824,215
貸倒引当金	△21,988	△19,519
流動資産合計	4,499,401	3,936,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,401,162	2,376,350
工具、器具及び備品(純額)	755,448	741,202
その他(純額)	111,203	83,766
有形固定資産合計	3,267,813	3,201,319
無形固定資産		
のれん	109,705	76,728
その他	63,350	78,445
無形固定資産合計	173,055	155,173
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,831,754	1,827,739
その他	483,809	493,854
投資その他の資産合計	2,315,564	2,321,594
固定資産合計	5,756,433	5,678,087
資産合計	10,255,835	9,614,947

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,120,281	1,146,361
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,251,082	601,050
リース債務	146,615	137,539
未払金	694,982	707,277
未払法人税等	127,477	23,139
賞与引当金	58,969	42,027
店舗閉鎖損失引当金	—	2,200
その他	370,654	394,569
流動負債合計	3,770,062	3,554,164
固定負債		
長期借入金	301,200	—
リース債務	190,236	197,936
退職給付に係る負債	329,943	346,862
資産除去債務	328,973	340,798
その他	614,236	602,348
固定負債合計	1,764,589	1,487,946
負債合計	5,534,651	5,042,111
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,474,394	1,475,154
資本剰余金	1,392,594	1,393,354
利益剰余金	1,699,661	1,552,002
自己株式	△121	△121
株主資本合計	4,566,529	4,420,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	869	1,346
為替換算調整勘定	126,066	109,561
退職給付に係る調整累計額	△20,745	△14,848
その他の包括利益累計額合計	106,189	96,059
新株予約権	514	441
非支配株主持分	47,949	55,946
純資産合計	4,721,183	4,572,836
負債純資産合計	10,255,835	9,614,947

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	19,178,064	19,721,297
売上原価	8,488,910	8,756,275
売上総利益	10,689,154	10,965,022
販売費及び一般管理費	10,181,777	10,555,770
営業利益	507,376	409,252
営業外収益		
受取利息	709	601
受取配当金	544	90
協賛金収入	37,537	32,896
その他	16,444	15,515
営業外収益合計	55,235	49,104
営業外費用		
支払利息	27,314	15,608
為替差損	74,799	10,120
その他	21	487
営業外費用合計	102,135	26,216
経常利益	460,476	432,140
特別利益		
受取立退料	32,360	2,896
受取保険金	8,659	—
受取和解金	4,960	—
特別利益合計	45,980	2,896
特別損失		
固定資産除却損	17,429	23,090
減損損失	1,993	11,891
店舗閉鎖損失	6,387	93
店舗閉鎖損失引当金繰入額	1,078	2,200
創業者功労金	—	200,000
特別損失合計	26,888	237,274
税金等調整前四半期純利益	479,568	197,762
法人税等	287,925	124,188
四半期純利益	191,642	73,573
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,600	5,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	193,242	68,291



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	191,642	73,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,469	477
為替換算調整勘定	△101,362	△13,790
退職給付に係る調整額	4,572	5,897
その他の包括利益合計	△89,320	△7,415
四半期包括利益	102,321	66,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110,732	58,160
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,411	7,997

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	10,759,738	6,033,282	2,046,939	127,820	18,967,780	210,284	19,178,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	319,844	319,844
計	10,759,738	6,033,282	2,046,939	127,820	18,967,780	530,128	19,497,908
セグメント利益又は損失(△)	252,193	776,555	△48,517	41,312	1,021,542	4,387	1,025,930

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,021,542
「その他」の区分の利益	4,387
セグメント間取引消去	12,517
全社費用(注)	△531,070
四半期連結損益計算書の営業利益	507,376

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「国内直営事業」セグメントにおいて、店舗の譲受けを行いました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、131,646千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	国内 直営事業	国内フラン チャイズ 事業	海外 直営事業	海外フラン チャイズ 事業	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	10,985,516	6,205,650	2,163,528	144,832	19,499,529	221,768	19,721,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	342,485	342,485
計	10,985,516	6,205,650	2,163,528	144,832	19,499,529	564,254	20,063,783
セグメント利益又は損失(△)	95,035	788,461	△91,974	56,030	847,553	29,288	876,842

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンテナンス事業、食育事業及び品質管理事業等であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	847,553
「その他」の区分の利益	29,288
セグメント間取引消去	2,985
全社費用(注)	△470,575
四半期連結損益計算書の営業利益	409,252

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。